

# いといがわ防災ステーション の構築に向けて



令和6年1月12日

糸魚川市産業部商工観光課  
主査 宮路省平

# 糸魚川市の紹介・アクセス



人口 **38,917人**  
世帯数 **17,070世帯**  
(2023.12.01現在)

紺碧の日本海から、北アルプスの山々まで壮大なスケールで広がる緑の大地。

新潟県糸魚川市には、2つの国立公園（妙高戸隠連山、中部山岳）と3つの県立公園（久比岐、白馬山麓、親不知子不知）があり、その豊かな自然は、訪れた人を圧倒し、魅了します。

清浄な水と空気、湧き出でる温泉、新鮮な魚介類、自然の営みがもたらす恵みは、私たちの暮らしをやさしく包み、うるおいを与えてくれます。

そして、平成21年8月には「糸魚川ジオパーク」が日本初の世界ジオパークに認定、平成27年3月には北陸新幹線糸魚川駅が開業し、首都圏や北陸方面からのアクセスがさらによくなりました。

**TOKYO**東京  
**OOSAKA**大阪  
**KANAZAWA**金沢  
**TOYAMA**富山  
**NIIGATA**新潟  
**NAGANO**長野

新幹線 2時間  
特急＋新幹線 4時間10分  
新幹線 50分  
新幹線 30分  
特急＋電車 2時間30分  
新幹線 40分

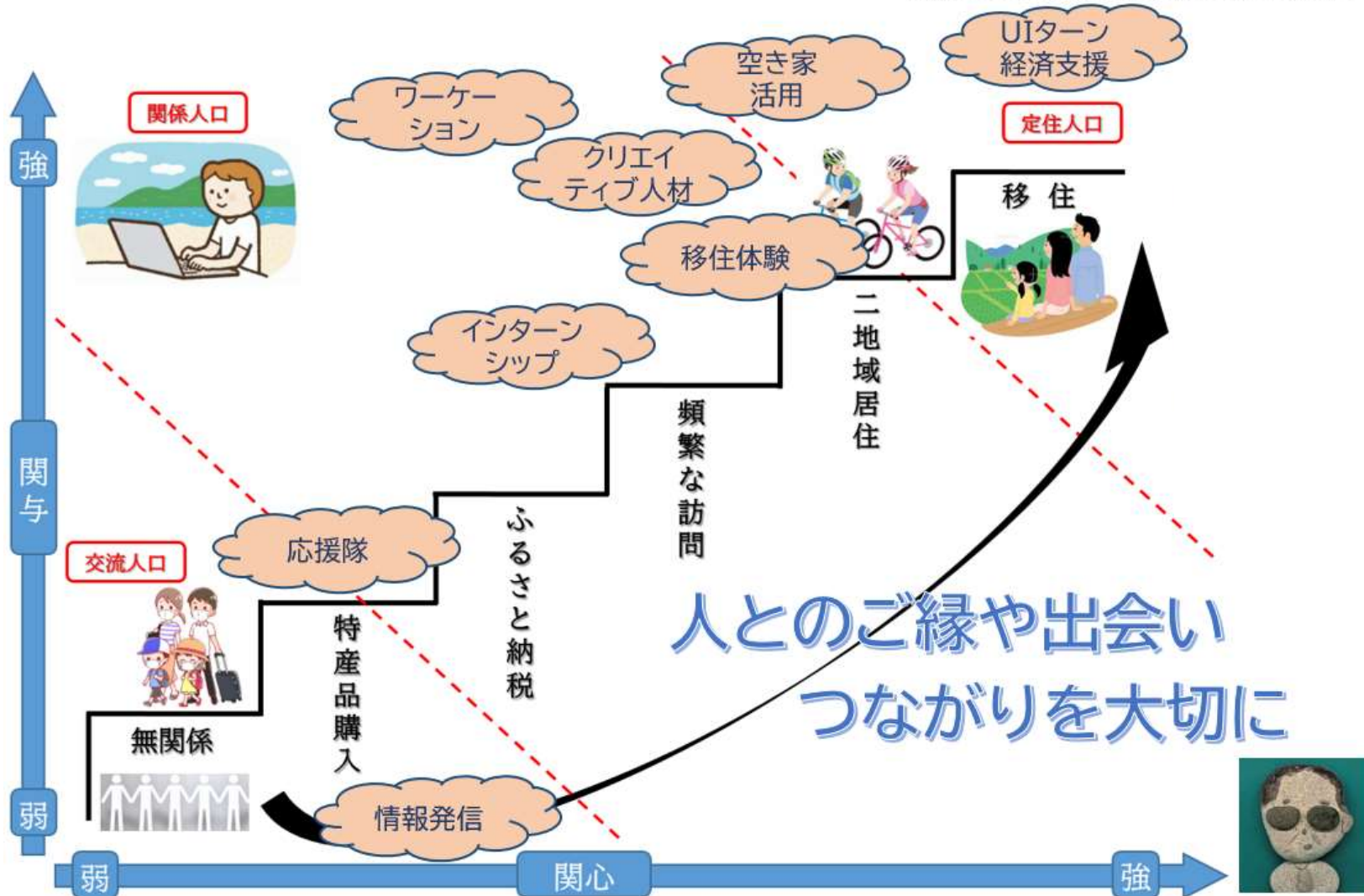


# 糸魚川市が目指す企業誘致・定住促進策

参考まで

糸魚川市が目指す「関係人口から緩やかな移住」の姿

※総務省及び小田切徳美明治大学教授の資料を参照し作成



# 防災ワークショップ【自然災害からのレジリエンス】①

## 自然災害大国日本における 自然の「恵み」と「脅威」を体感する2泊3日のワークショッププログラム

2016.12.22 糸魚川駅北大火



その他、雪崩災害、噴火災害、地すべり等を教訓としたプログラム造成

防災学習



被災体験談



フィールドワーク



歴史学習



# 防災ワークショップ【自然災害からのレジリエンス】②

## 観光庁「新たな旅のスタイル」促進事業に採択

→観光庁から情報発信いただくことで認知度向上に

観光庁「新たな旅のスタイル」  
ポータルサイト事例紹介



観光庁「ワークショップやブレジャー等の活  
用による働き方改革セミナー」登壇



(令和4年3月3日開催)

# 防災ワーケーション【自然災害からのレジリエンス】③

令和3年度が取組がきっかけとなり、地方創生の実現や地域課題の解決を目的に、ワーケーション・パートナーシップ協定を締結

令和4年6月2日  
新潟県内初のパートナーシップ協定締結



左から、富士通株式会社赤松ワークスタイル戦略室長、米田糸魚川市長、富士通Japan株式会社佐藤総務人事本部長



(6月4日朝刊 糸魚川タイムス)

# 防災ワークショップ【自然災害からのレジリエンス】④

## ワークショップ・パートナーシップ協定を締結後、第一弾となるワークショップツアーを防災をテーマに開催

令和4年6月24日～6月27日

地域住民との交流



市訓練訓練時の実証実験

地域での防災講演会



市内事業者訪問



まいといがわ まちフォト | 5

**まち PHOTO** 6月26日 災害・火災に備える

3年ぶりに市内全域を対象とした防災訓練が行われました。能生体育館では、能生地区町内会の方が参加し、避難所設営訓練等を行い、段ボールベッドやパーティション、簡易ベッドなどの組み立てを体験しました。また、富士通Japan株式会社によるスマートフォンを使った避難所受付システムのデモンストレーションも行われました。

 段ボールベッドを協力して組み立てます

 スマートフォンを使った受付システムを体験

 家庭で使用している天然ガスを確認中

市内で火災が多発していることから、柵口地区において天然ガスを使用している世帯を訪問し、防火診断を行いました。

(7月10日号 広報いといがわ)

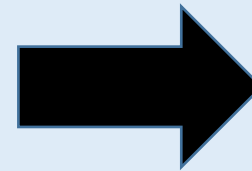
# いといがわ防災ステーションの構築に向けて①

防災ワーケーションプログラムを造成したものの関心を示す企業がない

→地域課題として「チャレンジ！つながるニッポン」に応募



企画提案



にいがた防災ステーションとは・・・

防災産業の拠点化に向け、新潟県が設置したプラットフォーム  
様々なプレイヤーが新潟県に集積し、ビジネスプロジェクトを組成



## いといがわ防災ステーションの構築に向けて②

いといがわ防災ステーションの企画化に向けた防災ワーケーションを実施  
→参加企業のソリューション紹介とあわせて地域課題の解決に向けた意見交換

防災・減災ソリューション × ユネスコ世界ジオパーク  
「糸魚川版にいがた防災ステーション」企画化への参加募集！



企画化に向けた防災ワーケーションの実施  
11月29日（水）～30日（木）  
・NTTインフラネット様  
12月11日（月）～12日（火）  
・楽天コミュニケーションズ様  
・NTTコミュニケーションズ様

新潟県との意見交換



ソリューション紹介



地域学習



市職員との意見交換



防災学習・フィールドワーク・ワークスペース見学

## ■今後の展望

# 1974焼山噴火50周年の行事にあわせて、市民対象から企業も参画可能な“いといがわ防災ステーション”実践

- ・ 参画企業は社員研修の一環として、防災ワーケーションを実施
- ・ 企業が集まり、親子を対象としたソリューション紹介ブースを展示
- ・ にいがた防災ステーションのプロジェクトとして情報発信

## ■参画するメリット

- ①災害に向き合う市民生活にふれ、様々な災害に関する知見を獲得
- ②にいがた防災ステーションとの連携に期待
- ③防災に関する参画企業相互の交流機会を創出
- ④行政のプレスリリースにより、メディアの露出機会が増えること
- ⑤地方の課題にふれ、行政や地元企業との実証実験
- ⑥ワーケーションの実践により、組織のエンゲージメント向上

いといがわ防災ステーションの実践に向けて、まずは市内の協力体制構築  
→関心のある企業は、是非ポータルサイトからお問合せください。

## プロモーション動画紹介



## モデルコース紹介

## 施設紹介

「あえて、糸魚川」で  
検索



日本海シーサイドテレワーク  
ITOIGAWA WORKATION STYLE

# 新たなワーク&コミュニティスペース

国の地方創生テレワーク交付金を活用し、新たなワーク&コミュニティスペースが誕生

美山多目的集会施設「クラブハウス美山」



SAN\_AIワークス

